

## 12月30日：利益確定売り圧力でVN指数は下落

証券、銀行株への利益確定売り圧力が高まりVN指数はわずかに下落した。直近3営業日は上昇を続けていた。

228銘柄が上昇し212銘柄が下落した。VN指数は1.95ポイント(0.18%)下落し1,097.54ポイントで取引を終えた。出来高は6億7700万株で7%減少、売買代金は13.47兆ドンであった。相対取引で5,720万株(1.58兆ドン)が取り引きされた。

前日に大きく上昇していたことで、利益確定の動きが高まり幅広い銘柄に売りが入った。ヴェティンバンク証券(CTS)(3.9%安)、ホーチミン市証券(HCM)(1.91%安)、アグリバンク証券(AGR)(1.87%安)、VNダイレクト証券(VND)(1.34%安)などが下落した。SSI証券(SSI)は0.63%安、FPT証券も0.32%安だった。

ベトキャピタル証券(VCI)は証券セクター唯一の上昇銘柄で1.82%高の55,800ドンで取引を終えた。

銀行セクターにも利益確定の売りが広がった。ベトコムバンク(VCB)、BIDV銀行(BID)、軍隊銀行(MBB)、HDバンク(HDB)などが売られた。テクコムバンク(TCB)、VPバンク(VPB)、サコムバンク(STB)、VIB銀行(VIB)、ベティンバンク(CTG)などは上昇したが0.5%以下の小幅な上昇に留まった。

STBは出来高がトップとなった。3580万株が取引された。FLCグループ(FLC)がそれに続き、2250万株の出来高だった。FLCは3%高の4480ドンで取引を終えた。

その他投資家の資金を集めたのは、タンタオ投資(ITA)で2000万株を超える商いとなったが、2.93%安の6,950ドンで取引を終えた。

ハノイ取引所では、HNX指数は0.08%安の196.94ポイントで取引を終えた。111銘柄が上昇し90銘柄が下落した。出来高は1.1億株、売買代金は1.2兆ドンであった。

サイゴンハノイ証券(SHS)、ハイフォンポート(PHP)、サイゴンハノイ銀行(SHB)はそれぞれ2.94%、2%、1.16%安となった。

ホーチミン市場とは対照的に、ハノイ上場の証券銘柄は上昇した。

CFS 輸出入貿易投資 (KLF) は 4.76%高となり、出来高が 1,120 万株のトップだった。タスコ (HUT) がそれに続く 1,020 万株の出来高だった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。